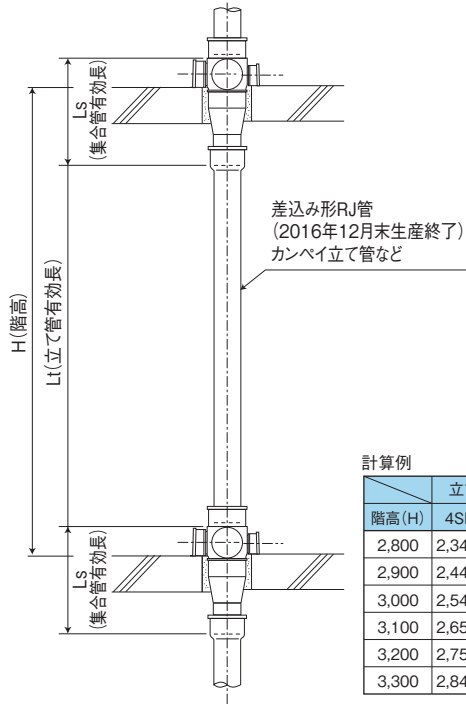


## 排水立て管寸法の割り出し方 (例:4SL・4HF・5HF)

Lt(立て管有効長)=H(階高)-Ls(集合管有効長)

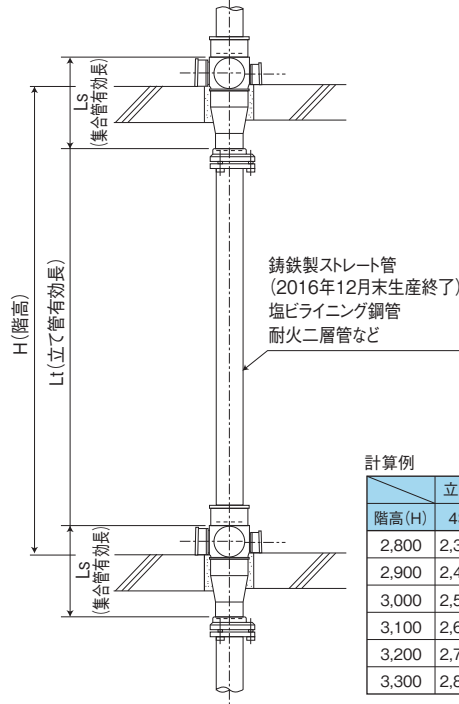
4SL-S:有効長460mm  
4HF-S:有効長590mm  
5HF-S:有効長640mm



計算例 (mm)

階高(H)	立て管有効長(Lt)		
	4SL	4HF	5HF
2,800	2,340	2,210	2,160
2,900	2,440	2,310	2,260
3,000	2,540	2,410	2,360
3,100	2,650	2,510	2,460
3,200	2,750	2,610	2,560
3,300	2,840	2,710	2,660

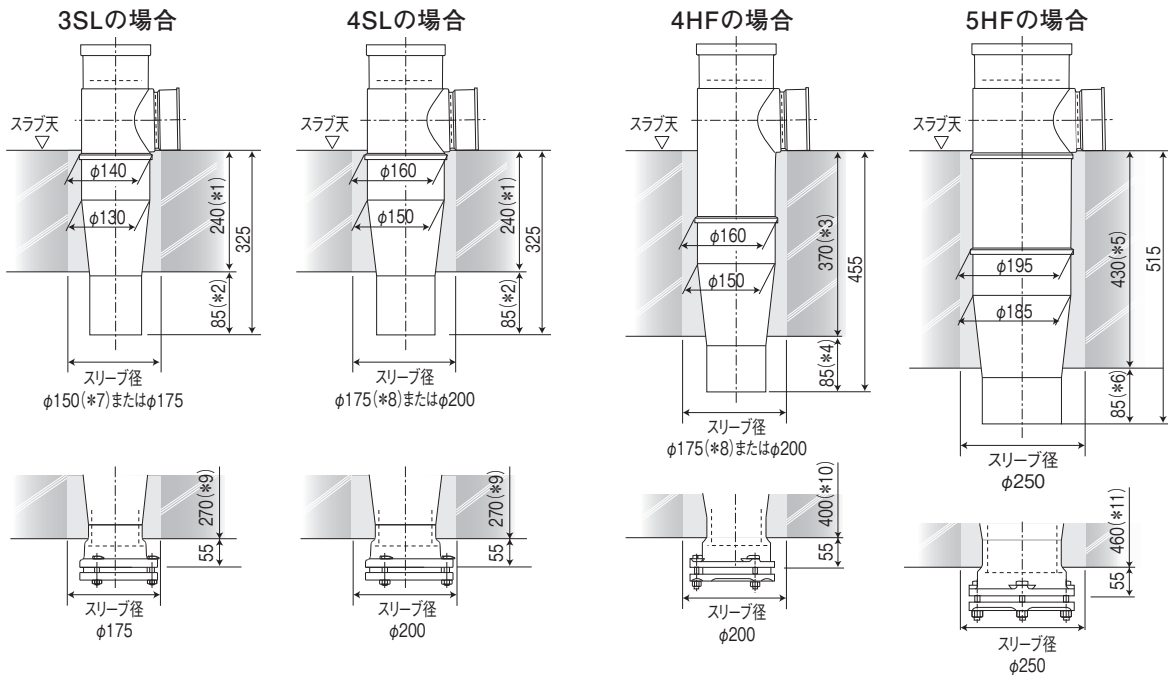
4SL-W/WKP:有効長420mm  
4HF-W/WKP:有効長550mm  
5HF-W:有効長600mm



計算例 (mm)

階高(H)	立て管有効長(Lt)		
	4SL	4HF	5HF
2,800	2,380	2,250	2,200
2,900	2,480	2,350	2,300
3,000	2,580	2,450	2,400
3,100	2,680	2,550	2,500
3,200	2,780	2,650	2,600
3,300	2,880	2,750	2,700

## 必要スリーブ径



- \*1 ただし、差込み形RJ管またはカンベイ立て管(標準タイプ)と接続する場合。シンドカット巻の場合またはカンベイ立て管防振タイプと接続する場合は220mm
- \*2 ただし、差込み形RJ管またはカンベイ立て管(標準タイプ)と接続する場合。シンドカット巻の場合またはカンベイ立て管防振タイプと接続する場合は105mm
- \*3 ただし、差込み形RJ管またはカンベイ立て管(標準タイプ)と接続する場合。シンドカット巻の場合またはカンベイ立て管防振タイプと接続する場合は340mm
- \*4 ただし、差込み形RJ管またはカンベイ立て管(標準タイプ)と接続する場合。シンドカット巻の場合またはカンベイ立て管防振タイプと接続する場合は115mm
- \*5 ただし、差込み形RJ管と接続する場合。シンドカット巻の場合は405mm
- \*6 ただし、差込み形RJ管と接続する場合。シンドカット巻の場合は110mm
- \*7 カンベイ立て管との接続またはシンドカット巻の場合はφ175
- \*8 カンベイ立て管との接続またはシンドカット巻の場合はφ200
- \*9 ただし、シンドカット巻の場合は260mm
- \*10 ただし、シンドカット巻の場合は380mm
- \*11 ただし、シンドカット巻の場合は405mm